科目名	視覚機能訓練学講義	分野・必選別・単位数	専門科目	選択	2単位

担当教員	◎教授　松岡久美子　　准教授　林　弘美　　講師　広田雅和					科目ナンバー	T1C111
課程	博士前期	配当年次	1年	配当学期	通年	授業方法	講義

授業の概要	視覚機能の病態としてロービジョン・弱視を掘り下げて研究する。
授業の到達目標	①小児視力の発達と特性、弱視の病因論および弱視の特性と分類ができる。小児視力の発達と特性については、出生後の視力発達と縞視標を用いて測定する縞視力、片眼視力と両眼視力、角視力と皮質視力、読み分け困難を学修する。さらに側方抑制理論とのかかわり、年齢との関係について説明できる。弱視の病因論では、視的環境、病態生理、視覚の感受性期間を、弱視の定義と分類では、弱視の種類による視力差を中核に据える。 ②乳幼児期から幼児期の視覚機能の感受性期間における小児の心身の発達を十分理解することにより、視覚発達機能障害としての弱視の本態の追究に役立たせると同時に先天性及び周産期における心身発達遅滞と視覚機能病変との関連について説明できる。

授業計画

回数	担当者		行動目標
1	広田　雅和	講　師	視力の発達について説明できる。
2	広田　雅和	講　師	視力の発達について説明できる。
3	広田　雅和	講　師	視力の発達について説明できる。
4	林　　弘美	准教授	弱視の原因について説明できる。
5	林　　弘美	准教授	弱視の原因について説明できる。
6	林　　弘美	准教授	弱視の原因について説明できる。
7	林　　弘美	准教授	弱視の病態について説明できる。
8	林　　弘美	准教授	弱視の病態について説明できる。
9	林　　弘美	准教授	弱視の病態について説明できる。
10	松岡久美子	教　授	弱視の検査について説明できる。
11	松岡久美子	教　授	弱視の検査について説明できる。
12	松岡久美子	教　授	弱視の検査について説明できる。
13	松岡久美子	教　授	弱視の診断について説明できる。
14	松岡久美子	教　授	弱視の診断について説明できる。
15	松岡久美子	教　授	弱視の診断について説明できる。

事前事後学修の内容およびそれに必要な時間		
	【事前学修】	指定したテキストの次回授業部分を事前に読んでおくこと。 次回の授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。
	【事後学修】	授業中の疑問点を、質問したり、ノートや配布資料、教科書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要。

教科書	随時　指示する。
参考書	
成績評価の方法および基準	レポート50%、口頭試問50% 欠席・遅刻・早退は減点の対象となる。1回欠席につき5点を減点する。遅刻・早退は3回で欠席1回とみなす。
その他履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。 （ディプロマ・ポリシー2に相当する）